



## Bridge X クイックスタートガイド

---

# Bridge X

## クイックスタートガイド

Green-GO Bridge Xを使用すると、ローカルのGreen-GOネットワークを世界中どこでもある外部のGreen-GOデバイスまたGreen-GOネットワークに接続することができます。最大4人のユーザーまたはグループを離れたエリアにルーティングすることができます。

### Features (特徴)

- 4つのブリッジポートが利用可能
- ローカルのネットワークへリモート接続を許可するブリッジモード
- 遠隔地のGreen-GOネットワークに接続するためのリモートモード
- 4つの各ポートは、ユーザーまたはグループをブリッジまたはリモート接続可能
- 2 x イーサコン 内部ネットワーク用
- 2 x イーサコン 外部ネットワーク用
- 2.2インチカラーディスプレイ
- 電源はイーサネットポートからのPoE (802.3af-2003規格) 給電

## Setup menu navigation (セッティングメニューナビゲーション)

エンコーダーを押すと、Bridge Xの設定メニューが開きます。メニュー内では、エンコーダーを使用して移動し、パラメーターを設定します。またエンコーダーを押して選択を確定します。

## Setup menu overview (セッティングメニュー概要)

セッティングメニューには、デバイスを変更するためのさまざまな設定があります。メニューセクションとそれに属するオプションについては後述します。

## Setting up a bridge port (ブリッジポートの設定)

---

Bridge X の全てのポートを設定します。

### Port x : yyyy

**Mode: Off** → ブリッジポートはオフです。

**Mode: Group Bridge** → ポートをグループブリッジモードに設定します。グループブリッジモードでは、ローカルの Green-GO ネットワーク内の 1 つのグループを別の Green-GO ネットワークに転送できます。この別のネットワークは同じ設定である必要はなく、グループ名も両ネットワークで異なってもかまいません。

**Mode : User access** → ポートをユーザーアクセスに設定します。ユーザーアクセスモードでは、ローカルの Green-GO ネットワークからリモートの Green-GO ネットワークまたは Green-GO デバイスに 1 人のユーザーを転送できます。このユーザーはローカル Green-GO ネットワークのリモートメンバーとなり、設定を共有します。

## Set up a group bridge (グループブリッジの設定)

---

グループブリッジを設定するには、両方の Green-GO ネットワークに Green-GO ブリッジが必要です。ブリッジ接続には 2 つのサイドが必要です。UDP ポートで着信接続をリッスンするパッシブサイドと、リモート IP 上のポートに接続するアクティブサイドです。

### Mode: Group Bridge

- Group:** → ローカル Green-GO ネットワークからリモート Green-GO ネットワークにブリッジしたいグループを選択します。
- Call**
- enabled** → 双方向に転送されます。
  - send** → ローカルネットワークからのみ送信します。
  - receive** → リモートネットワークでのみ受信します。
  - disabled** → どちらの方向にも転送されません。
- Routing** → ブリッジを有効または無効にして、着信グループを別のポートに転送します。有効にすると、すべてのロケーション間でブリッジ接続をする必要はなく、同じグループを 3 つ以上のロケーションに接続できます。
- Don't route** → 着信グループを別のブリッジポートにルーティングできません。
  - Routing Enable** → 着信グループを別のブリッジポートにルーティングできます。

**Connection** → ブリッジポートの接続を設定します。

- Active connection** → ポートを接続のアクティブサイドとして設定します。
- Password** → 接続用のパスワードを設定します。  
パスワードは接続の両サイドで同一である必要があります、常に 8 文字長です。
- Generate Password** → ランダムな 8 文字のパスワードを自動的に生成します。
- Remote Port** → 接続用の UDP ポートを設定します。接続ごとに異なる空きポートを使用する必要があります。
- Remote IP** → リモート接続用の IP アドレスです。WAN 経由でルーティングされている場合、これは ISP ルーターの外部 IP アドレスになります。リモートブリッジの IP アドレスに ISP ルーターのポート転送を設定する必要があります。ローカル LAN 上の場合、これはリモート Bridge 自体の IP アドレスになります。
- Backup** → バックアップリモート IP アドレスを設定します。

<b>SndBuf</b>	→ 送信オーディオパッケージのバッファサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい接続には、より大きなバッファが必要です。
<b>RecvBuf</b>	→ 受信オーディオパッケージのバッファサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい接続には、より大きなバッファが必要です。
<b>Save</b>	→ ポート接続の設定のすべての変更を保存します。
<b>Cancel</b>	→ ポート接続の設定のすべての変更を破棄します。
<b>Passive connection</b>	→ ポートを接続のパッシブサイドとして設定します。
<b>Password</b>	→ 接続用のパスワードを設定します。 パスワードは接続の両サイドで同一である必要があり、常に 8 文字長です。
<b>Generate Password</b>	→ ランダムな 8 文字のパスワードを自動的に生成します。
<b>Local Port</b>	→ 接続用の UDP ポートを設定します。このポートは接続の両サイドで同じである必要があります。接続ごとに異なる空きポートを使用する必要があります。
<b>SndBuf</b>	→ 送信オーディオパッケージのバッファサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい接続には、より大きなバッファが必要です。
<b>RecvBuf</b>	→ 受信オーディオパッケージのバッファサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい接続には、より大きなバッファが必要です。
<b>Save</b>	→ ポート接続の設定のすべての変更を保存します。
<b>Cancel</b>	→ ポート接続の設定のすべての変更を破棄します。

## Set up User Access (ユーザーアクセス設定)

---

リモートユーザーアクセスを設定するには、ローカルの Green-GO 側に Green-GO ブリッジが必要です。もう一方のサイドには、Green-GO デバイス、Green-GO ブリッジ、または Green-Go アプリを実行している I-phone があります。リモートユーザーが接続のアクティブサイドになり、ブリッジがパッシブサイドになります。

### Mode: User Access

<b>User:</b>	→ ブリッジポートにルーティングするユーザーを選択します。
<b>Any</b>	→ ユーザーは接続のアクティブサイドで選択することができ、デバイスはローカルネットワークの「フルメンバー」になります。
<b>User</b>	→ アクティブサイドにルーティングされている現在の設定から Fixed ユーザーを選択します。

<b>Connection</b>	→ ポートを接続のパッシブサイドとして設定します。
<b>Password</b>	→ 接続用のパスワードを設定します。 パスワードは接続の両サイドで同一である必要があり、常に 8 文字長です。
<b>Generate Password</b>	→ ランダムな 8 文字のパスワードを自動的に生成します。
<b>Local Port</b>	→ 接続用の UDP ポートを設定します。このポートは接続の両サイドで同じである必要があります。接続ごとに異なる空きポートを使用する必要があります。
<b>SndBuf</b>	→ 送信オーディオパッケージのバッファサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい接続には、より大きなバッファが必要です。
<b>RecvBuf</b>	→ 受信オーディオパッケージのバッファサイズを設定します。レイテンシーのジッターが大きい接続には、より大きなバッファが必要です。
<b>Save</b>	→ ポート接続の設定のすべての変更を保存します。
<b>Cancel</b>	→ ポート接続の設定のすべての変更を破棄します。

## Configuration cloning (コンフィギュレーションクローン)

---

ローカルの Green-GO ネットワーク内のすべてのデバイスは、互いに通信できるように同じ設定 (Configuration) を持つ必要があります。

**Clone Config** → ネットワークから設定ファイルのクローンを作成します。

Configuration File A → 設定ファイル A をロードします。

Configuration File B → 設定ファイル B をロードします。

etc.

**Factory Default** → 工場出荷時のデフォルト設定ファイルをロードします。

## Setup internal Network (内部ネットワークの設定)

---

Green-GO 内部ネットワーク接続の設定を変更します。

**Dynamic** → 接続モードを選択します。

**ON** → ダイナミック IP を使用します。DHCP サーバーがネットワーク上にある場合はデバイスに IP アドレスが提供されます。DHCP サーバーがない場合、デバイスはリンクローカル IP をセルフアサインします。

**OFF** → 固定 IP を使用します。

**IP address** → 使用する IP アドレスを設定します。

**Netmask** → 使用するネットマスクを設定します。

**Gateway** → 使用するゲートウェイを設定します。

**Save** → 現在のネットワーク設定を保存します。

**Cancel** → 現在のネットワーク設定の変更を破棄します。

## Ext Network (外部ネットワークの設定)

---

外部ネットワーク接続の設定を変更します。

- IP address** → 使用する IP アドレスを設定します。
- Netmask** → 使用するネットマスクを設定します。
- Gateway** → 使用するゲートウェイを設定します。
- Save** → 現在のネットワーク設定を保存します。
- Cancel** → 現在のネットワーク設定の変更を破棄します。

## Device options (デバイス オプション)

---

### Options

- Exit** → メニューから出ます。
- Backlight** → ディスプレイが切れるまでの時間を設定します。  
常にオン、または、10 秒から 4 時間の範囲です。
- Display** → ディスプレイの輝度を設定します。

## Device information (デバイス インフォメーション)

---

**Info** → Bridge X に関する一般的な情報を表示します。

- Config :** → Bridge X の現在の設定
- SN: xxx** → Bridge X のシリアル番号
- BridgeX 4a61** → ファームウェア情報
  - BridgeX 4a61** → ファームウェア バージョン
  - Nov 16 2018** → ファームウェア リリース日付
  - 09:32:09** → ファームウェア リリース時刻
- IP: xxx.xxx.xxx.xxx** → Bridge X の IP アドレス
- Mac: xx:xx:xx:xx:xx:xx** → Bridge X の Mac アドレス
- Reset All Settings** → すべての、IP、オーディオ、ユーザー、チャンネルの設定をリセットします。(設定ファイルは変更されません)

## Technical specifications (仕様)

電源 :	PoE (IEEE 802.3af)
サイズ :	483mm (19") x 44mm (1U) x 165 mm
重量 :	2480 g

## General safety instructions (安全の手引き)

ご使用になられる前にユーザーマニュアルと安全の手引きをお読みください。  
安全と操作上の指示事項に関して遵守してお使いください。

### Cleaning (クリーニング)

機器をクリーニングする前は接続されている全ての電源ケーブルと信号ケーブルを外します。  
乾いた布で拭いてください。機器に液体をかけたりスプレーしたりしないでください。

### Usage (使用法)

- 水や湿気のあるところで使用しないでください。 - 換気用の開口部を塞がないでください。換気用開口部は、機器内の空気の流れを確保し過熱から保護するために必要です。 - 製造元の指示に従って設置してください。 - 機器の通気口に物を入れないでください。活電部に物が触れたりショートしたりする可能性があり感電や火災の原因となります。 - ラジエーター、ストーブ、その他熱を発生する（アンプなど）機器の近くに設置しないでください。 - 雷発生時や長期間使用しないときは電源を外してください。不安定な場所には置かないでください。

### Servicing (サービス)

修理が必要な場合は、有資格のサービス担当者に依頼してください。電源コードやプラグが損傷した場合、機器に液体がこぼれた場合、何かを落とした場合、雨や湿気にさらされ通常どおりに動作しなくなった場合、本体が落下した場合、など機器が損傷を受けた場合はサービスを受ける必要があります。以上のような状況が発生した場合は即座に電源プラグを外して販売店またはテクニカルサポートに連絡してください。

## WARNING (警告)

火災や感電の危険を避けるために  
本機を雨や湿気にさらさないでください



## Declaration of Conformity (EU 適合宣言書)

We,

**Manufacturers name:** ELC lighting b.v.

**Manufacturers address:** Weerijds 8  
5422 WV Gemert  
the Netherlands

Herewith take the full responsibility to confirm that the product

**Product Category:** Communication equipment

**Name of product:** Bridge X

Which refer to this declaration are manufactured in the Netherlands and complies with the following product specifications and harmonized standards:

**Safety :** LVD (Low Voltage Directive) 2014/35/EU, EN62368-1

**EMC :** 2014/30/EG, EN55032

**ROHS (II):** 2011/65/EU

With the presumption that the equipment is used and connected according to the manual, supplied with the equipment. All signal input- and output connections must be shielded and the shielding must be connected to the ground of the corresponding plug.

Gemert, November 20, 2018

ing. Joost van Eenbergen

